

加太春日神社



<http://digitalarchiveproject.jp/information/加太春日神社>



加太春日神社の創建年代は明確ではないが、紀伊国造家旧記によると、神武天皇御東征の御代に、天道根命が神寶二種を奉じて加太浦に上陸、頓宮を造営して天照大御神を祀ったことに始まるという。当地は海に面して漁業の盛んなところであるため、のちに航海安全と大漁を祈願する住吉神社を合祀したらしく、文保元年(一三一七年)六月二十九日付賀太庄住吉社への寄進状(向井家文書)が残されている。

当社の社名については、紀伊風土記によると日野左衛門藤原光福が地頭としてこの地を支配した嘉元年間(一三〇三～一三一七年)に、自分の祖先神である春日三神をあらたに祀り、総名として「春日社」と称したとあり、嘉吉2年(一四四二年)の記録に春日明神神事日記(向井家文書)がある。紀伊名所図絵によると、社地はもと、現在地から東の山の中腹にあったが、天正年間(一五七三～一五九二年)に羽柴秀長の家臣で和歌山城代(当時、秀長は大和郡山に居城、大和、和泉、紀伊三国を領し、紀伊国は和歌山城代が支配)、桑山重晴によって現在地に遷したと記している。なお、棟札(重文)によって慶長元年(一五九六年)に大がかりな社殿の造作がなされたことも実証されている。

当神社は、明治時代まで神職はおかず、神社経営は宮座形式の当屋制によって運営されていた。そのため、神社には記録文書類は全く存在せず、他からの資料に頼らざるを得ないが、御神徳の篤い神社であることは、「紀伊国神名帳」に「正一位春日大神」と記されており、神格の高さを知ることが出来ると共に、役小角(飛鳥時代の山岳修業者で修験道の開祖者、役行者とも称す)が、友ヶ島を行場とし、当社を勧請して守護神とされた。そのため現在でも毎年四月、当社に聖護院門跡が大勢の山伏僧と共に参拝されていることからわかる。また、昭和五十六年、環境庁(現環境省)主催の第二十三回自然公園大会において、採火神社に指定され、聖火を献火すると共に、氏子有志による獅子舞が郷土芸能として披露された。

なお、加太春日神社の現在の社名は、太平洋戦争後、全国の神社が国家の保護を離れ、宗教法人による神社に切り替わったとき、用いられたものである。

現在の御社殿は、一間社流造、千鳥破風及び軒唐破風付き檜皮葺で、構造をはじめ木鼻、墓股、手挟、欄間、脇障子などの彫刻が雄大、豪壮でよく桃山時代の特徴を表しているとして、昭和6年に国宝として指定され、戦後は国指定重要文化財として保存されている。



001_加太春日神社



002_加太春日神社



003_加太春日神社



004_加太春日神社



005_加太春日神社



006_加太春日神社



007_加太春日神社



008_加太春日神社



009_加太春日神社



010_加太春日神社



011_加太春日神社



012_加太春日神社



013_加太春日神社



014_加太春日神社



015_加太春日神社



016_加太春日神社



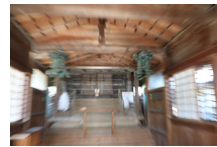
017_加太春日神社



018_加太春日神社



019_加太春日神社



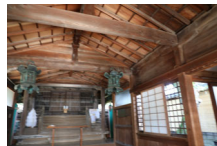
020_加太春日神社



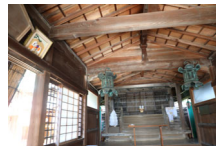
021_加太春日神社



022_加太春日神社



023_加太春日神社



024_加太春日神社



025_加太春日神社



026_加太春日神社



027_加太春日神社



028_加太春日神社



029_加太春日神社



030_加太春日神社



031_加太春日神社



032_加太春日神社



033_加太春日神社



034_加太春日神社



035_加太春日神社



036_加太春日神社



037_加太春日神社



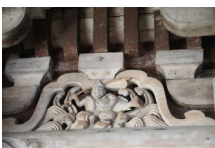
038_加太春日神社



039_加太春日神社



040_加太春日神社



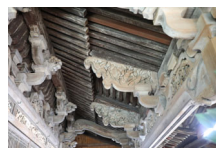
041_加太春日神社



042_加太春日神社



043_加太春日神社



044_加太春日神社



045_加太春日神社



046_加太春日神社



047_加太春日神社



048_加太春日神社



049_加太春日神社



050_加太春日神社



051_加太春日神社



052_加太春日神社



053_加太春日神社



054_加太春日神社



055_加太春日神社



056_加太春日神社



057_加太春日神社



058_加太春日神社



059_加太春日神社



060_加太春日神社



061_加太春日神社



062_加太春日神社



063_加太春日神社



064_加太春日神社



065_加太春日神社



066_加太春日神社



067_加太春日神社



068_加太春日神社



069_加太春日神社



070_加太春日神社



071_加太春日神社



072_加太春日神社



073_加太春日神社



074_加太春日神社



075_加太春日神社



076_加太春日神社



077_加太春日神社



078_加太春日神社



079_加太春日神社



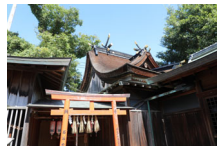
080_加太春日神社



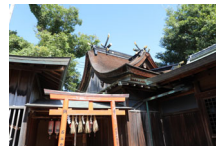
081_加太春日神社



082_加太春日神社



083_加太春日神社



084_加太春日神社



085_加太春日神社



086_加太春日神社



087_加太春日神社



088_加太春日神社



089_加太春日神社



090_加太春日神社



091_加太春日神社



092_加太春日神社



093_加太春日神社



094_加太春日神社



095_加太春日神社



096_加太春日神社



097_加太春日神社



098_加太春日神社



099_加太春日神社



100_加太春日神社



101_加太春日神社



102_加太春日神社



103_加太春日神社



104_加太春日神社



105_加太春日神社



106_加太春日神社



107_加太春日神社



108_加太春日神社



109_加太春日神社



110_加太春日神社



111_加太春日神社



112_加太春日神社



113_加太春日神社



114_加太春日神社



115_加太春日神社



116_加太春日神社



117_加太春日神社



118_加太春日神社



119_加太春日神社



120_加太春日神社



121_加太春日神社